

2021 年 12 月 2 日

株式会社トレテス顧問 前宝塚市長 中川智子 様

非営利活動法人 日本タバコフリー学会 代表理事・医師 藺 潤
〒561-0802 大阪府豊中市曾根東町1-11-44 ビコロ曾根3F
FAX: 06-6857-2334 <http://tobaccofree-adv.main.jp/>

受動喫煙被害への無自覚に対する抗議書

拝啓、本会はタバコの害から人々を守り、最終的にはタバコのない（タバコフリー）社会を目指すNPO法人で、会員には多くの医療関係者を含んでいます。

さて、本年11月30日の神戸新聞三田阪神版「会う×聞く」に「国がだめなら地方が動かす」との見出しで、中川様のインタビュー記事が掲載されました。

その冒頭、『「衆議院議員時代に関わった法案や訴訟は連戦連勝だったのよ。」メンソールのたばこをくゆらせ、語り始めた。』との記載があり、良識を疑わざるを得ませんでした。その理由は以下の通りです。

- 1) 聞き手の記者が被った受動喫煙被害は、たとえ屋外においても生命を脅かす危険があり、ご自分が加害者であることに無自覚であること。厚生労働省の推計でも、受動喫煙による死亡は、毎年日本で1万5千人に上ります。
- 2) 現在、新型コロナウイルス感染防止のために、特に人との会話ではマスク着用が強く要請されています。喫煙しながらインタビューを受けるのは、感染防止の社会規範を無視している証拠であり、許容されることではありません。
- 3) 政界を引退されたとはいえ、新聞という公器に、ご自分の代議士や市長時代のことを述べられるのは公人に準ずる立場での発言であり、喫煙しながらインタビューを受けることは許容されることではありません。

「市民の声を聞くことを何よりも大切に」「弱者に寄り添い」「オーガニック・ナチュラルフーズを推進する」姿勢を貫かれるためにも、これを機に毎年日本で十数万人の命を奪っている喫煙（＝ニコチン依存症という病気）の治療を受け、禁煙されることを強くお勧めします。

この抗議書に対する書面でのご回答を、本年中にいただきたく宜しく願い申し上げます。

敬具